科目名	13. 社会と家族				
履修年次	1年次	科目区分	基礎分野	単位数 (時間)	1単位 （15時間）
ディプロマポリシー(DP)	☑ 人を大切にするこころ □ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	一番身近な社会としての家族を学び、時代とともに変化する考え方について理解することができる				
到達目標	身近な社会としての家族に関心を持ちながら、時代とともに変化する家族の機能や関係等、社会としてそれを支えるしくみについて説明することができる				
評価方法	筆記試験（70点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（30点）による総合評価を行う				
使用 テキスト					
参考文献	系統看護学講座　別巻　家族看護学　医学書院 新しい家族関係学 （改訂）　建帛社 〈わかる〉シリーズ　よくわかる家族社会学　ミネルヴァ書房				
教育方法と学生への期待 (求めること)	一番身近な社会として家族が存在します。家族の概念、構造、機能を理解し、時代とともに変化する家族の考え方から、社会の仕組みや福祉制度・経済活動の在り方など様々な視点をもってひとの生活について考て欲しい。身近で簡単なテーマであるはずの「家族」は、とても難しくて深いテーマです。自分自身や周囲を見直すことから始めますが、専門職としてその人だけでなく、その家族とのかかわりについて考えられるように学んでください。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	「家族」とは何か①	家族の定義 家族・親族・世帯	講義
2	「家族」とは何か②	家族の多様な形 海外における家族の捉え方	講義
3	日本社会の家族変動	伝統家族から近代家族へ 近代家族から現在家族へ ワーク・ライフ・バランス	講義
4	配偶者選択	結婚とは何か ジェンダー 家族と法律 夫婦別姓	講義

5	子どもと家族	子どもをもつこと 出産と子育て 親子関係としつけ 子どもの貧困、虐待	講義
6	高齢者と家族	少子超高齢社会の現状 介護と家族	講義
7	障害をもつ子どもと家族	障がいをもつこと 障害をもつ子どもと家族	講義
7.5	現代家族を取り巻く社会の課題	様々な家族	講義